

高知県の地震

目 次

高知県の地震活動	
震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度1以上を観測した地震と各地の震度	2
高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	2
地震一口メモ	
緊急地震速報を見聞きしたら	3

※「高知県の地震」は月1回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

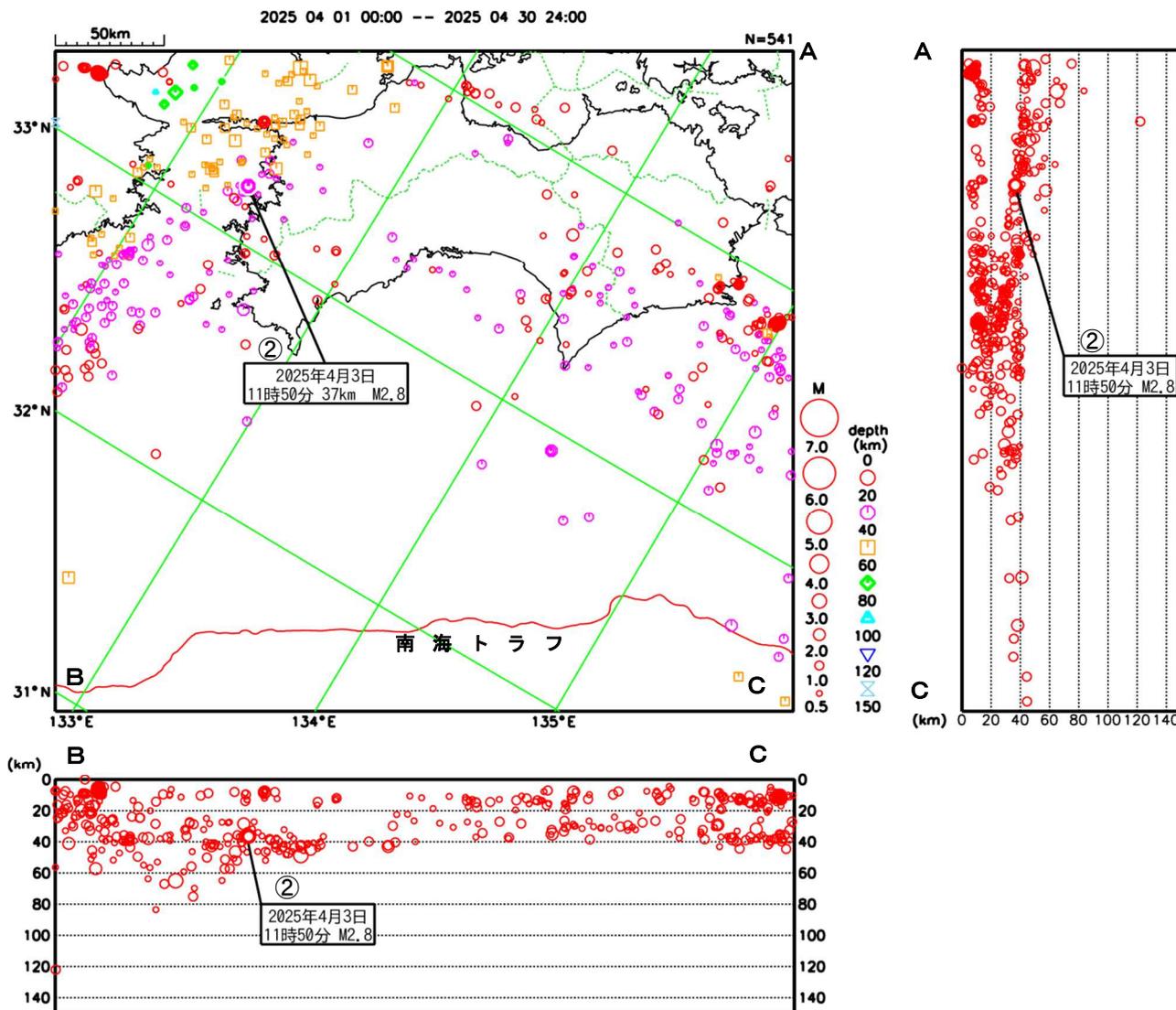
2025年(令和7年)4月

高 知 地 方 気 象 台

高知県の地震活動

「震央分布図及び断面図」

(2025年4月1日～4月30日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさと色で表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えて表しています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数(地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。
断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東(A-C)方向断面図(右)と西南西-東北東(B-C)方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

「地震概況」

2025年(令和7年)4月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回でした(前月は1回)。

2日23時03分、大隅半島東方沖の地震(深さ36km、M6.1、震央分布図外①)により、宿毛市で震度1を観測しました。また、宮崎県、鹿児島県で震度4を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました。

3日11時50分、豊後水道の地震(深さ37km、M2.8、震央分布図②)により、宿毛市で震度1を観測しました。その他に、愛媛県で震度1を観測しました。

注) 地震概況にある数字は、「震央分布図」、「地震の表」及び「震度分布図」の番号に対応しています。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度」

2025 年 4 月

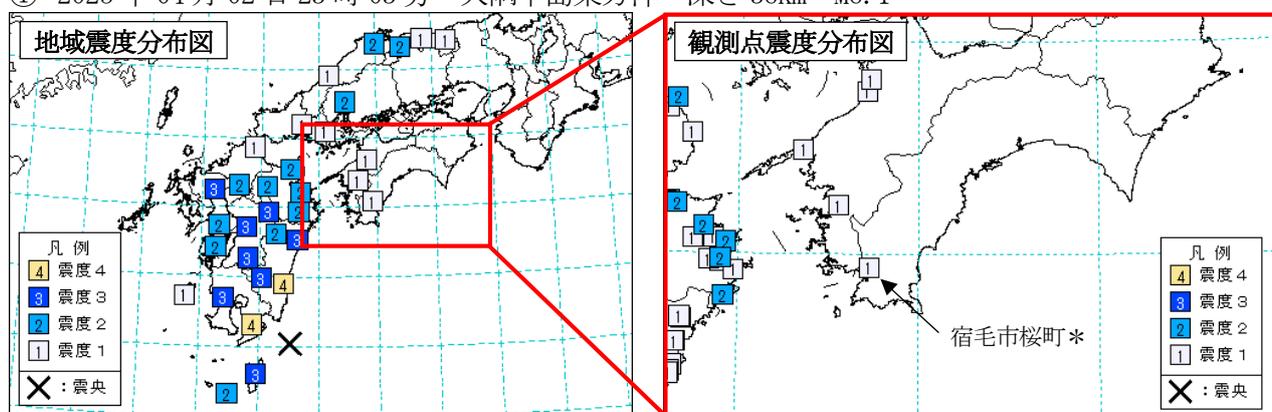
発震時刻 (年月日時分) 各地の震度 (高知県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
① 2025 年 04 月 02 日 23 時 03 分 高知県 震度 1 : 宿毛市桜町*	大隅半島東方沖	31° 02.7' N	131° 31.3' E	36km	M6.1
② 2025 年 04 月 03 日 11 時 50 分 高知県 震度 1 : 宿毛市桜町*	豊後水道	33° 13.0' N	132° 23.0' E	37km	M2.8

注) 観測点名の*印は、気象庁以外 (高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所) の震度観測点です。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図」

2025 年 4 月

① 2025 年 04 月 02 日 23 時 03 分 大隅半島東方沖 深さ 36km M6.1



② 2025 年 04 月 03 日 11 時 50 分 豊後水道 深さ 37km M2.8



「地震一口メモ」

緊急地震速報を見聞きしたら

○緊急地震速報を見聞きしたら

緊急地震速報は、地震の発生直後、強い揺れが来ることを可能な限り素早く知らせる情報のことです。最近では、昨年4月17日の豊後水道の地震の際に、高知県内全域に緊急地震速報が発表されました。突然の音に驚いて、何をすれば良いかわからないままだった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

緊急地震速報を聞いたときの基本行動は「あわてず、まず身の安全を守る」ことです。具体的には周囲の状況に応じて下図のような対応をとってください。

また、下図の例以外にも、日常の様々な状況で、いま地震が発生し、緊急地震速報の報知があったらどうすべきかを考えておきましょう。

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない

鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる

エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる

屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意

自動車運転中は

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす

緊急地震速報

気象庁リーフレット「緊急地震速報」より

○緊急地震速報を活用するために

長時間を過ごす、ご自宅の日頃からの地震への備えは充分でしょうか。強い揺れに見舞われると、家具の落下や転倒、ガラスの破損などが起きることが想定されます。緊急地震速報を見聞きしても、これらの危険に対する備えができていなければ身の安全を守ることはできません。日頃から地震への備えを心がけるとともに、室内の安全な場所を把握しておきましょう。

また、携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は緊急地震速報が発表された際に音が鳴る設定になっているかも確認しておいてください。

定期刊行物 高知県の地震 (高知地方気象台)
<https://www.data.jma.go.jp/kochi/kankoubutsu.html>